



2020年5月21日

株式会社 阿波銀行

「産学連携1号投資事業有限責任組合」設立について  
～大学発ベンチャー企業を積極的にサポートします～

阿波銀行（頭取 長岡獎）は、大学発ベンチャー企業の創業および経営支援を目的として、国立大学法人徳島大学、株式会社地域経済活性化機構（REVIC）および一般社団法人大学支援機構との協力により、「産学連携1号投資事業有限責任組合」を設立いたしましたので、お知らせします。

当行は、「産学連携1号投資事業有限責任組合」の有限責任組合員として10億円の出資をするとともに、運営母体となる「株式会社産学連携キャピタル」に出資し、役員2名を派遣します。

当行は次世代の徳島経済を支える起業を支援することで、地域社会の発展に貢献してまいります。

記

【産学連携1号投資事業有限責任組合の概要】

ファンド名称	産学連携1号投資事業有限責任組合
運用者（GP※1）	株式会社産学連携キャピタル ※概要については別紙1をご参照ください。
出資約束金額（当初）	総額 1,001百万円 株式会社阿波銀行 1,000百万円（LP出資※2） 株式会社産学連携キャピタル 1百万円（GP出資）
投資形態	出資（普通株式、種類株式） 社債引受（新株予約権付含む）等
ファンド期間	2020年4月15日から2030年3月31日
投資対象先	・地域の活性化や雇用の確保、地域を支える人材の輩出、徳島大学における研究開発の推進につながると判断されるもの。 (主な例) ・徳島大学の関与するベンチャー事業 ・徳島大学発シーズや次世代“光”を活用した企業・団体 ・徳島大学の場を活かした事業 ・徳島大学の保有する工業所有権を活かした事業 等

※1 General Partnerの略。無限責任組合員として、組合の業務を執行する。

※2 Limited Partner出資の略。出資の額を限度として組合の債務弁済の責任を負う。

以上

【別紙1】

○株式会社産学連携キャピタルの概要

社名	株式会社産学連携キャピタル
株主構成	一般社団法人大学支援機構（95.0%） 阿波銀行（5.0%）
業種	ベンチャーキャピタル
業務内容	ベンチャーファンドの運用、投資先の経営支援
資本金	1百万円
代表取締役	田中 雅範
設立日	2020年3月2日

○事業全体のイメージ図

REVIC の特定専門家派遣を活用する枠組みにより、徳島大学発ベンチャーの創業支援・成長支援を行い、新たな産業の芽を育てます。

